

第25回 さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会 会議録

- 1 日時 平成22年10月8日(金) 午後7時～午後8時30分
- 2 場所 サークル室(文京シビックセンター12階)
- 3 出席者 専門委員会委員 安達修一委員長、薄田康広委員長職務代理、平野敏夫委員、樋野興夫委員、清水朋子委員、西田隆重委員、黒田健夫委員、長松康子委員
専門委員会幹事 藤田男女協働子育て支援部長、宮本保健衛生部長、三縄資源環境部長、高橋施設管理部長
区職員 辻保育課長、石原予防対策課長、鶴沼施設管理課長、境野保育係長大澤主事

4 配付資料

資料第4号「心理相談・健康リスク相談の開催状況等について」
資料第5号「平成22年度胸部X線写真の読影・保管事業結果報告」
資料第6号「アスベスト文献リスト(長松委員より提供)」
資料第7号「今後の予定について」
専門委員会ニュース第6号
「再生砕石石綿混入問題の現状と課題」(西田委員より提供)

5 会議進行

(1) 心理相談・健康リスク相談の開催状況等について(報告)

保育課長 (資料第4号参照) 園児・保護者向けの心理相談・健康リスク相談については、9月18日に開催しているのので、その部分が追加になっている。職員向け相談は申込みがなく、回数がゼロになっている。健康手帳の配布状況と協定の締結状況は、前回と変わりがない。

相談に携われた先生方から何か補足があれば、お願いしたい。

委 員 特に問題はなかった。

(2) 高校入学時胸部X線写真の読影・保管事業の実施結果について

保育課長 (資料第5号参照) 5月15日に、保護者向けの説明会を開催したが、出席者はいなかった。5月17日に、対象者に通知を出した。その後、7月30日までの提出期限に7名の方から申請があった。この7名の方について、8月18日に読影部会を開催した。結果は、全員異常なしであった。8月24日に、結果の通知を行った。何か補足がありましたら、ご担当された委員の方をお願いしたい。

委 員 側わんについては、対象外だが、見てしまったので、所見に記載した。

委 員 かなり厳しく、疑わしきは罰するような見方をした。間接写真でどこまでできるのかという問題はある。

保育課長 この件に関連して、前回ご質問があった、職員についてどうするのかという問題がある。対象となる職員は、保育課44名、営繕課1名である。保育課職員については、21名が現在現役で、2名が死亡している。今後、この方たちに対して、どう対応するのかご検討いただきたい。

委 員 長 規定上は、職員も対象になるが、リスク相談は平成18年度から申込みがない。ひとつには、呼びかけて、要望があれば受けるということもできるかと思う。

委 員 定期健診は、直接撮影なのか?

保育課長 所管課(職員課)が入っていないので、わからない。(後日、職員課に確認したところ、間接デジタル撮影であることが判明した。)

委 員 今は、かなり直接撮影になっている。直接撮影であれば、現役の方については、毎年やっているが、軽微な石綿肺などは、専門的な目で見ないとわからないので、こちらで再チェックすることを考えてもいいかもしれない。退職された方が半分くらいいるので、その方たちには、通知して対応する必要があるだろう。

保育課長 退職された方も、市区町村でやっている健康診断を受診していれば、可能かもしれない。健康診断も受けていないとなると、健診費用については、今回の制度では負担しないことになっているので、自費でやることになる。

では、平成26年度までの実施期間の中で、もし希望があれば読影するという通知をしていくということでしょうか。

委員 皆さん、そんなに心配されていない方が多いのか？

保育課長 平成18年度以降の職員向けの相談が全くないことから見て、職員については、関心が低いのかなと思う。

男女協働子育て支援部長 読影のお手間は増えるかもしれないが、来年度から、現役職員並びに退職職員についても、通知をして、同じように読影していただく、ということでしょうか。
(委員了承)

保育課長 来年度から、対象職員について、事務局から通知をするということで対応する。

(3) アスベスト文献の収集方法について

保育課長 前回の専門委員会でご質問のあった件で、専門委員会設置要綱の第2条第3項で「専門委員会は、・・・関連する資料及びの情報の収集に努めるものとする」となっているので、このたび長松委員より資料第6号の「アスベスト文献リスト」をいただいた。リストの右端に「図書館」という欄があって〇がついているものが5冊あるが、これは文京区立の図書館に所蔵があるものである。この資料も参考にさせていただき、本区の専門委員会として、今後の資料の収集と保存について、どうすればよいのかご検討いただきたい。

なお、席上にもう一つ、西田委員からご提供いただいた川崎市の調査報告がある。これは、電子データでご提供いただいたので、事務局で保存している。

委員長 資料第6号をご提供いただいた長松委員から、ご説明いただきたい。

長松委員 これは、2・3年前につくったもので、今の時点では、もっとも新しいものがあると思う。一般向け・子ども向けのものは少ないと思うが、良くも悪くもどこかでまとめていくという意味では、アスベスト書籍アーカイブみたいなものを作る意味はあるのかなと思う。

これに加えて、名取前委員から託されて今日お持ちしたのが、内山先生がお書きになったさしがやの報告で、学会発表を除いて、さしがやのことがきちんとパブリッシュされたものなので、これも加えていただきたい。あと、保護者の有志で、何年か前に資料集と子ども向けの本をつくった。寄贈させていただくので、箱詰めするのでなくて、できれば真砂図書館あたりにアスベスト文献の棚をつくっていただければ、と思う。

委員長 各保護者の方、もうそろそろご本人の方が、こういう書籍を見たいというときに、文京区の図書館にあるということであれば、アクセスしやすい。論文の場合は、また難しいところがある。どうやって、この情報を保護者の方に伝えていくかということと文献をどこかにアーカイブしていくという面があると思う。

西田委員 今日、私が提供したものは、川崎市に報告したもので、再生砕石にアスベストが混入していて、それが道路や公園に敷かれる問題がある。公園などは子どもたちが遊ぶ場所で、そういう身近な場所にアスベストがまだある。こうした問題を検討していければと思い、本日資料提供させていただいた。いずれにしても、文献といってもかなり数があるので予算建てができるのか、ということと、保管場所が確保できるのかどうか、という基本的な問題がある。全てということはなかなか難しいと思う。最低限、さしがやに関連する文献は集めていくことは確認できるが、どこまでやるのか、事務局の意見を伺いたい。

保育課長 実際に、どのような書籍をこちらで収集・保存しておくべきなのか、事務局では判断できない。専門委員会として、このようなものを用意しておけば、それによって108名の方たちが活用できるというものをピックアップしていただければ、と思う。どれだけの書籍をどのように揃えていくか、が見えない中で、実際に大きな

予算を取る対応はしていないが、何がしかの書籍を購入するということに、対応するための予算は用意している。

男女協働子育て支援部長 どうしても取っておきたいという限定的な形での書籍購入や保管であれば可能だが、非常に幅広くアスベスト研究全般に渡るようなものまでは、文京区としては手が回らない。限界がある。

委 員 書籍に関しては、図書館で購入してもらうことは可能か？

男女協働子育て支援部長 一定の範囲では可能だと思う。

保育課長 実際的に、購入希望を出すことは可能だが、それを購入するかどうかは、最終的には、図書館の判断になる。

男女協働子育て支援部長 専門図書館ではなく、一般区民のための図書館なので、あまりにも利用可能性の低いものになると難しいと思う。

委 員 一般区民が利用できる保管場所とすることはできるのか？

男女協働子育て支援部長 一般区民にも見ていただきたいような冊子に限定して、アスベスト・コーナーを設けて保管しておくことは、私どもから図書館に依頼することはできる。

保育課長 区内には図書館が何館もあるので、1か所に全部集めると、皆さんがそこに来ないと見られないという不便さもある。複数の図書館のなかで、どういう持ち方をするかは、こちらの要望に対して、図書館側がどのような考え方をするかによる。ただ、あちこちにあるアスベスト書籍を1か所に集めて区民に提供するイベントを提案することもできる。

委員長 委員会で「情報収集」と言ったのは、新しい検査法とか治療法とかを委員の中で、きちんと把握して、それをフィードバックしていくという任務が第一義である。そうは言っても、このようなリストを保護者やご本人にアクセスできるようにしておくことは大事だと思う。

例えば、このリストを専門委員会ニュースに載せて、そのうちの一部は図書館に蔵書されていることを紹介したり、あるいは、本日配られた内山委員長の書いたものは、ホームページで読めるようにする、といった情報提供から始めるのが、ひとつの手かなと思ったりする。

委 員 保護者の立場からすると、10年前からアスベストに関する状況がどう変わったのか、わからない。治療方法がどのように変わってきているのか、を伝える媒体がない。外科療法により飛躍的に生存期間が延びている、とかの情報をわかりやすく提示することをお願いできれば、と思う。

委員長 理想的なことを言えば、お子さん向けのパンフレットができたが、あれの第二号のようなものが、10年インターバルで出てくる感じになればいいと思う。

保育課長 次の議題にも関連するが、委員長がおっしゃったように、リストの中から書籍とか雑誌で比較的手に入れられるものを対象者の方々にご紹介するようなことを委員会ニュースの中でご検討いただければ、と思う。

また、このリストのデータを区のアスベスト・ホームページにアップすることもできる。

それから、どうしてもこの書籍は揃えておいた方がいいというものがあれば、専門委員会の中でご提案いただくだけではなく、事務局の方にご連絡いただければ、委員長と相談して、購入を検討することも可能であるので、情報提供いただければ、と思う。

文献収集の考え方については、とりあえず、そのような対応でよろしいか。

男女協働子育て支援部長 ホームページに載せるときに、このリストをそのまま載せてよいのか？それとも、専門委員会として、皆さんにアクセスしていただきたいものを選んで載せるのか？

委員長 選び方の問題がある。論文についてはいろいろあると思うが、書籍についてはよいのかなとも思う。

委員会ニュースに載るのが一番よいと思う。原稿についても、保護者委員が、治療法とかについてコメントをつけていただくこともできる。

- 委員 公のホームページに載せるには、吟味した方がよい。あまりにも専門的であったり、一般論としてどれだけ認められているのか、といった問題がある。
- 保育課長 そういう意味では、文京区立図書館にあるものだけをピックアップして載せれば、皆さんも見ることができる。
- 委員 今は、その方がいいかも知れない。
- 委員 どれだけ労力がかかるのかという問題はあるが、せっかくリストが出来ているので、例えば、書籍の部分に関して、委員が読んで、これはお勧めできるという簡単なコメントをつけてホームページに掲載できる、ないしは、最低限この本とこの本は区内の図書館に置いてほしい、という要望が出せるとよい。中核となる図書館に集めておけば、見たい方は近くの図書館で借りることができる。
- その場合、この書籍を区の予算で集めることが可能なのか？
- 論文については、5年単位・10年単位くらいでの治療の進歩について、委員会ニュース等で提示していくことでよいのではないかと。興味のある人は、今後、大学等に進んで、大学の図書館で調べることができる。そうでない人には、専門委員会ニュースの中で、一般の方にわかりやすいように要約したものを定期的に出していく方が実用的である。
- 保育課長 事務局の方で、とりあえず本を用意して、その中から取捨選択するという話があったが、予算的には無理である。ピックアップしたものについて予算対応するのであれば検討可能である。
- 委員 年間予算はどれくらいか？
- 保育課長 これまで組んでいなかった。来年度予算について、何冊か買えるような金額をこれから財政課と折衝していくことになる。
- 委員 一般書であれば、何千円単位だが、医学書になると何万円という単位になる。
- 保育課長 医学書が買えるような予算は考えていない。一般書が数冊買える程度で折衝しようと考えている。
- 委員 ホームページに病気の情報を載せた方が、何万円もする医学書を買うよりよい。公共性のある区のホームページには、専門家がチェックしたものを載せるとよい。
- 保育課長 原稿を提供いただければ、こちらでホームページにアップすることは可能である。
- 委員 文献は引用として提示すればよいとして、アスベストとは何か？アスベスト健康被害とは何か？について、A4で1ページ程度にわかりやすく記載して、それを固定するのではなく、定期的にバージョンアップすることが大切である。そういう作業をこの委員会の中で、ホームページ担当委員を決めてやるのもひとつの方法である。
- 委員 ホームページは誰が担当しているのか？
- 保育課長 それぞれの所管が担当する。専門委員会のページは保育課が担当である。
- 委員 区民なり、対象児童・保護者なりが見るということであれば、わかりやすいQ&Aなどを載せるのがよい。
- 委員長 子ども向けのパンフレットは、まさにQ&Aの形式になっていて、かなりわかりやすくなっている。ダウンロードして中身を開けないと見られないのだが。
- 文献リストの書籍からピックアップして、委員会ニュースで紹介するのがファーストステップとしてはよいのかな、と思う。
- 直接、ホームページにアップしてしまうと、いろいろな問題があるし、責任も出てくる。メンテナンスも必要になる。
- 委員 例えば、神奈川労災職業病センターのホームページにリンクすることは可能か？
- 委員 リンクは可能である。
- 委員 区の方で、新しくバージョンアップするのが大変ということであれば、よいホームページにリンクするのもひとつの方法である。
- 委員 基本的なQ&Aについては、既にNGOのホームページにちゃんとしたものがある。ただそれを委員会としてどう評価するか、という問題はあるが、可能ではある。

全てを一からつくるのは大変だと思うので、活用できるものはしていくことも必要だと思う。

委員 時代の流れとしてホームページをきちんとしていくことは、組織の信頼度にかかわる。文京区は、アスベストに対して、ホームページをきちんとしておくことが必要である。ホームページをいかにするか、について、専門委員会の担当委員の中で議論しておくことが必要である。

保育課長 ご意見があったので、今後の専門委員会のテーマとして取り上げていければ、と思う。

次の議題にも、だいぶ関わりながら、話が進んできているので、そちらも合わせながら、話を進めていただきたい。

(4) 専門委員会ニュースの発行について

保育課長 参考にニュースの第6号を配布した。昨年度は高校入学時の胸部X線写真の読影・保管が大きなテーマだったので、それを記事として大きく取り上げ、裏面では専門委員の交代とか経過の報告を掲載している。今年度のニュースについて、発行の時期とか内容とかについてご検討いただきたい。

委員長 原稿は、誰が書いているのか？

保育課長 保護者委員である。保護者委員から原稿をいただいて、それを事務局で印刷して配布している。

委員長 だいたい毎年同じくらいの時期に発行するのがよいと思う。

保護者委員 では、(保護者委員)ふたりでやる。

保育課長 内容とか発行時期については、事務局と調整しながらやっていただければ、と思う。

保護者委員 中皮腫の最新治療情報などについて、先生方にお問い合わせできるか？

平野委員 名取元委員と相談しながら、協力できるかと思う。

委員長 なかなかスペースも少ないので、詳しい情報は文献を紹介するとか、その流れの中で、長松委員のつくられたリストも入るのかなというイメージを持っている。

委員 何部つくるのか？

保育課長 対象児童と保護者向けなので108名分である。実際にはカラー印刷をしている。

委員長 同じものをPDFで、ホームページにアップしている。

保育課長 委員会ニュースについては、そのような形でお願いします。

(5) 今後の予定について

保育課長 (資料第7号参照)今年度は、あと2月～3月くらいに健康リスク・心理相談を予定している。来年度は、委員の交代はないので、今年の5月に開催したような、委員をご紹介するための専門委員会の開催は予定していない。読影や相談については、今年度と同様のスケジュールで進行して、10月頃の専門委員会で読影の結果報告等をやる。平成24年度は委員の交代があるので、1月頃に次期の委員を選任するための専門委員会の開催が必要と思われる。来年度については、10月と1月の2回、専門委員会を開催する予定となっている。このスケジュールについて、ご意見を伺いたい。

委員長 来年度の読影の対象者数は？

保育課長 20人である。

委員長 それに職員の方が加わることになる。

保育課長 次期の委員については、事務局から、次の委員を探していただきたいとのお願いをすることになるが、今回は、夏くらいにご依頼していたようである。来年度についても、夏頃をお願いすることになる。最終的には、1月の専門委員会で、ご承認いただくことになる。

10月までの間で、もし何かがあって専門委員会を開く必要があるということ

であれば、事務局にご相談いただいて、委員の皆様にご諮って開催するのは全く問題ない。

では、当面、このスケジュールで進めさせていただく。

(6) その他

委員 来年度の予算で、本を購入したり、ホームページを更新したりする予算を取って欲しい。

保育課長 ホームページの更新は、職員が行うので、費用はかからない。委託には、出せない。

男女協働子育て支援部長 職員がつくるのが原則になっている。

委員 来年の10月まで会議がないと、ホームページを一般向けに更新するとか、本の購入とかが進まない。

保育課長 本については、推薦をいただければ、委員にご諮って意見を集約することは可能である。来年度については、専門書でなければ、若干購入可能な予算対応をしたいと考えている。

委員 ホームページを皆さんはご覧になっているのか？

委員 なかなか、たどり着けない。

委員長 「さしがや アスベスト」で検索すると、すぐに出る。

委員 区のホームページのトップに、アスベストへ飛ぶバナーをつけてもらえないのか？

保育課長 メニューのページにバナーをつけるのは、かなり難しい。

委員長 逆に、西田委員のところとか、平野先生のところから文京区のサイトに飛びリンクを張ることはできるか？

資源環境部長 申請してもらえれば、可能である。

個別の案件で、区のホームページにバナーをつけるのは難しい。

委員 保護者は、文京区のホームページに行くと思う。

保育課長 確かに、アスベストのページは、階層が深いかも知れない。ニュースの出し方やホームページの公開の仕方については、専門委員会の中だけではなくて、事務局に直接ご相談いただければ、可能なことは対応する。

委員長 委員会のアドレスは、もらえるのか？

保育課長 文京区の中につくるのは、無理である。

男女協働子育て支援部長 これで検索すれば、すぐにみつかる、というのをニュースでPRしていただければ、と思う。

委員 本についてだが、寄贈すれば、置いてもらえるのか？

保育課長 図書館の方で、寄贈本を書架に置くかどうか、は確認が必要である。

男女協働子育て支援部長 アスベスト・コーナーのようなものを真砂図書館に設置してもらうことが可能かどうか、また、設置した場合に、買ってもらうばかりでなく、専門委員会からの寄贈とかを受け入れてもらうとか、既存の蔵書を集めてもらうとか、について図書館の方に問い合わせしてみる。

それ程場所をとるわけではないので、基本的に一般の方向けの図書という限定があれば、なんとか交渉してみたいと思う。

その結果については、皆様にご報告する。

保育課長 本日は、これで終了する。

2～3月頃に予定されている相談会については、事務局から担当の先生方と日程調整させていただく。